



熱心に講座を受ける参加者たち

3 5回 災害時の 速やかな 被災者支援

大規模な災害発生時に備え、ボランティアの活動を割り振ったり、行動指示を与えたりできる人材を育成しようと、防災ボランティアコーディネーター養成講座を開講し、田原中部校区から21名が受講しました。講師のNPOレスキューストックヤード栗田暢之氏・椿佳代氏は、ボランティアを頼むのに二の足を踏まないよう、コーディネーター役は大切と話しました。田原市では、今後5年間で100名の養成を計画しています。

TTCN

■たはらしティニュース/TaharaCityNews

2月>>3月



高松市民館



赤羽根市民館



若戸市民館

3 24回 赤羽根地域に 待望の新施設

赤羽根地域の各校区の拠点となる『高松市民館』『赤羽根市民館』『若戸市民館』が完成しました。施設内は、広々とした多目的ホールのほか、会議室、和室、調理室などを備えています。また、各敷地内には防災備蓄倉庫が設置され、防災施設も充実。高松地区には耐震性防火水槽、赤羽根地区には飲料水兼用耐震性貯水槽、若戸地区には消防団詰所も建設され、災害時の拠点としても活用が期待されます。